

# YELL エール

第3号

那須教育事務所ふれあい学習課  
〒321-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9  
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193  
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol 3 平成22年 8月

## かかわりのポイントは・・・

### ー 生涯学習係・有資格教員と学校支援ボランティアの関係ー

夏休みも終わり、また、学校生活がスタートしました。久々に聞く子ども達の歓声に、やる気がみなぎっていることと思います。

さて、今号では、学校支援ボランティアと生涯学習係・有資格教員とのかかわりについて考えてみたいと思います。現在、学校には、毎日子どもたちの登下校時の安全を確保してくださる方、年に数回総合的な学習の時間のお手伝いをしてくださる方等、様々なボランティアが携わっています。そのような方々の受け入れ窓口は、小中高等学校ともに「実際に活動する授業や事業の担当者」が最も多いようです。※効率よく授業や事業を進めるためには、担当者が窓口になるのが良い方法です。

では、生涯学習係や有資格教員はどのようにかかわればよいのでしょうか？まず、**学校支援ボランティアに関する情報を一元化すること**からはじめてはいかがでしょうか。つまり、**実際に活動に関わったボランティアの情報を収集し、それを一覧表にして他の職員に周知する**というものです。情報収集は、メモやノートを生涯学習係の机の上に置き、実際に活用したボランティアの情報（氏名・連絡先・活動内容等）を空き時間に記入してもらうのが有効です。また、年度当初の会議で学校支援ボランティア一覧表を配布しても、忘却の彼方に行ってしまうので、誰もが目につくところ（印刷室や給湯室等）に一覧表を張り出し、適宜、最新情報に更新するのがよい方法です。

更に、**有資格教員は学校支援ボランティアの斡旋や導入を積極的に行い、授業や事業を展開してほしい**と考えています。また、社会教育主事講習やその後のステップアップ研修で得た、専門的な知識やネットワークを有効に使い、**ボランティアを探している先生方の相談にも乗ってほしい**と思います。

次号では、学校支援ボランティアの先進事例を紹介します。ておくことは、とても重要です。  
※平成17年度 学校支援ボランティアに関する調査研究による（総合教育センター）



ボランティアの情報を一元化し

## 社会の窓

ふれあい学習関係  
用語の解説

### 「とちぎ家庭教育サポート事業」

家庭教育の推進を図るためには、個々の親だけでなく、社会全体で親子の「学び」や「育ち」を支えることが重要です。そこで、県教育委員会では、「とちぎ家庭教育サポート事業」として、**家庭教育推進活動の実施**（企業内の社員研修を利用した学習会の実施等）、**家庭教育推進企業等の紹介**（推進活動の様子を県HPで紹介等）を行っています。**家庭教育についての研修を希望する企業がございましたら、ふれあい学習課までお知らせください。**

### 社会教育主事の紹介

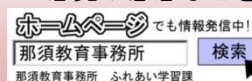
氏名：新井 智幸 先生  
勤務先：大田原市生涯学習課  
ふれあいの丘天文館  
職名：主査兼社会教育主事



メッセージ：今年で3年目になりました。ふれあい学習推進の為に、皆さんと共に頑張りたいと思います。微力ではありますが、どうぞよろしく願いいたします。星空に関するご質問等がございましたら、お気軽にご連絡下さい！

### エールは双方向で!!

エールは双方向の紙面作りを目指しています。みなさんのご意見や感想などを、気軽にお寄せください。



\*\*\*\*\* 次回のエールは9月下旬に発行予定です。\*\*\*\*\*